

悔い改めの祝福（II列王 19:14-19）

イスラエルのほとんどの王が偶像に走り、神様に逆っていた時代に、ヒゼキヤが王になりました。ヒゼキヤは、珍しくダビデの道を歩んだと書かれている王で、イスラエルを改革して、みこころにかなうことを行いました。そして、アッシリヤに収めていた上納金を拒んだのです。そこで、アッシリヤが 18 万 5 千人の軍隊でイスラエルを取り囲んで攻撃してきました。そのとき、ヒゼキヤは問題の前でとまどって、ミスをしてしまいます。まず、和解を求めてアッシリヤに金銀を渡す人間的方法を取りましたが、それはアッシリヤに通用しませんでした。その次に、強そうに見えるエジプトに助けを求めましたが、うまくいきませんでした。そのとき、信仰に立ち返り、イザヤに使者を送りました。それは、みことばに立ち返ったことです。そして、神殿に入り、アッシリヤから来た手紙を神様の前に広げて、「ケルビムの上に座しておられるイスラエルの神、主よ。ただ、あなただけが、地のすべての王国の神です。あなたが天と地を造られました。…」と祈り、そのときに、18 万 5 千人のアッシリヤの兵が倒れ、勝利したのでした。

人生の歩みの中で、自分の意志ではなくミスを犯し、失敗することがあるでしょう。また、失敗しなくても、みんな弱さを抱えています。ミスや失敗、弱さがあるとき、正当化しようともがいたり、それもできないとだめだとあきらめて自滅することが多いです。正当化、もがき、自滅は正解ではありません。間違っていた方向を U ターンして、正しい方向へ向かう時刻表であり、チャンスだというのが正解です。そのように U ターンすること

が、悔い改めです。それは、悔い改める最高のチャンスなのです。世の中の教え、自分の経験を捨てて、聖書が教える正解に目を留めましょう。

ミス、あやまち、失敗は、根本を悔い改めて神の国に入らせるためのものです。人が分かるミス、自分だけが分かるミスなどを犯し、罪責感におそわれ、消せない憎しみを持ったり、自分自身を許せず苦しむ場合があります。そのような苦しみの人生は、靈的にも、肉的にも、精神的にも苦しみとなり、子孫にも影響を与えます。失敗やミス、あやまちに対して、正しく理解すべきです。聖書が語っているのは、**悔い改めが正解**で、悔い改めることが人間には必要だということです。そのために、まず根本を見るべきです。人間は、根本から自分の努力、熱心によって幸せになれると思ひ、お金さえあれば、成功すると思っています。しかし、努力によっても、お金や成功によっても、幸せになることはできません。罪、悪魔、のろいの滅びの運命から解放されて、創造主である神様に会わないと幸せにはなれません。新しく生まれ変わって解放され、神様に会うために、イエス様が十字架で死に、復活されてキリストとして道、真理、いのちとなってくださいました。ですから、イエス・キリストを信じて、救われ、いのちに預かることが人生の幸せです。イエス・キリストによって、根本を変えて、方向修正すること、それが悔い改めです。

そのように、悔い改めると、神の国に入ります。神様は、神の国に入れるために、あやまち、失敗、ミス、弱さを許されるのです。靈的な世界、罪、神様の愛、イエス・キリス

トを分かるなら、正しいか正しくないは、テーマになりません。**根本の悔い改めによって神の国に入ります。**イエス様は、水と御霊によって生まれなければ、神の国に入ることができませんと言われました（ヨハネ 3:5）。イエスをキリストと信じ受け入れるとき、神の国に入ります。心の貧しい者は、天の御国がその人のものなので幸いだと言われました（マタイ 5:3）。イエス様のはじめてのメッセージは、「悔い改めなさい。神の国が近づいたから」でした（マタイ 4:17）。方向を変えて、信じて受け入れると神の国が臨み、聖霊の宿る神殿となります（1コリント 3:16）。そして天にあるすべての靈的祝福が臨みます（エペソ 1:3）。それゆえ、どうなっても「かまいません」となります。天の御国に入ることが保証されます（ペリピ 3:20）。

神の国に入った**信者の私たち**にも、弱さ、ミス、あやまちがあります。それも、**不信仰を悔い改めることによって、神の国が実際に現れる祝福があらわれます。**これが信者の悔い改めの威力です。ヒゼキヤが人間中心主義から方向を変えました。ペテロは三度もイエス様を否定する不信仰によって失敗しました。パウロも、この死のからだと言うほど、肉の弱さ、悩みがありました。しかし、信者は神の国に入っている祝福の存在です。自分の思いでどうにかしようとするのではなく、

悔い改めが求められていることを知りましょう。新しく生まれたのに、依然として古い人を着たまま気づいていないので、古い人を脱ぎ捨てるために許されたのです。自分中心、肉中心、世の中中心の基準で判断してきたとすなおに認め、天の御座に方向を変えましょう。古い人を脱いで、キリストを身につけ、見えない御座を見上げましょう。失敗したペテロに、イエス様が来られて「イエスはキリストなのか」と、逃していたことを取り戻すように言われました。パウロは、弱さを見てもすぐさま、「キリスト・イエスにあつて」とキリストに切り替えました。そして、聖霊の導き、力によって、肉では不可能なことが可能になると告白します。**自分からイエスに、肉から靈の世界に、世の中から御座の力に、聖霊の力に方向を変えましょう。それが悔い改めです。**すると、心の奥底から生ける水の川があふれ流れるようになるでしょう。問題に天使が動員され、暗やみが砕かれる神の国のことが起こります。地上のすべてを超える、神の国の働きがなされるのを見るのです。

あやまち、ミス、失敗、弱さがあるときは、悔い改めが正解です。神様が信者に与えられる最高のプレゼントは悔い改めです。正しく知って、神の国が実現するのを見る証人となりましょう。

1 部-II 列王記 19:14-19 悔い改めの祝福

なるほど/正しい悔い改めは人生の勝利をもたらす決定的方向転換であり、神の国とつながる祝福である。
ならば/弱さやミス、失敗を通して、方向を修正する実際的な悔い改めで神の国を体験しよう。

2 部：ペリピ 4:13 神様を体験する

なるほど/問題につまずかずに感謝するとき、神様を体験することになる。
ならば/問題から契約を見つけ、問題を旅程と見て、問題を御座の入り口と見る習慣を身につけよう。